５ 事業別進捗状況

（1）基本目標1　子どもと親の豊かな健康づくりの推進

〔網 掛 け〕　重点施策

1－（1）　子どもと親の健康の確保・増進

〔進捗状況〕 A：順調　B：やや遅れている　C：遅れている　D：当該年度予定なし　E：終了

（単位：千円）

No.	事　業　名	目標	平成18年度 予算額	平成18年度 決算額	平成19年度 予算額	平成19年度 決算額	平成20年度の事業実績【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成20年度末の進捗状況	平成21年度の取組・課題等【平成21年度目標事業量】	予算額	所　管　課
1	母子保健地域組織育成事業	拡充	0	0	0	0	保健推進員全体研修会において、母子保健に関する研修を実施した。 （B評価理由：保健推進員全体研修会で母子保健関連の研修を実施することはできたが、保健推進員が地域で母子に関する活動を推進する際に必要となる情報の提供、相談に応じるまでの支援ができなかった。）	33	33	B	保健推進員に対して、ブロック会議等の場を用いて市の母子保健事業の情報提供、地域の活動においての母子保健に関する内容についての情報交換及び相談等を行い、保健推進員が地域で母子に関する活動を推進する際の支援をしていく。	0	健康づくり支援課
2	事故防止対策	継続	47	47	41	7	乳幼児の事故防止に関する啓発記事を広報に掲載。 乳幼児の事故防止に関するポスターを作製し、乳幼児がよく集まる児童館に配付した。	11	11	A	乳幼児の事故防止対策については、これまでも様々な機会を通じて啓発活動を実施している。今後もあらゆる機会を通じて、啓発活動を継続していく。	41	健康づくり支援課
3	乳幼児健診	拡充	23,764	23,764	24,698	24,305	4か月・1歳6か月・3歳3か月児を対象に身体発育・精神発達の両面から健診を行い、児の健康の保持増進、保護者の育児不安の解消を図った。 ・4か月児健診（年間48回）　受診率93.6% 　該当児　2,760人　受診児　2,585人 ・1歳6か月児健診（48回）　受診率　94.8% 　該当児　2,812人　受診児　2,666人 ・3歳児健診（48回）　受診率　90.1% 　該当児　2,822人　受診児　2,542人	24,454	24,454	A	これまでに4か月児健診に助産師、1歳6か月児健診に栄養士を新たに導入して、健診時の相談体制の充実を図り、また問診票を改正して育児不安の把握に努め、相談の際に役立ててきた。今年度は3歳児健診における視力検査及び視力に関する相談体制をよりよいものにしていくため、県立塙保己一学園の協力を得ながら、具体的方法を検討していく。また、新しい健診（10か月児健診）の実施について、検討する。	24,283	健康づくり支援課
4	乳幼児相談	拡充	1,197	1,124	1,270	1,196	乳幼児を対象とした相談を実施し、育児不安の解消と保護者同士の情報交換の場を提供する。平成19年度より幼児相談に心理相談員を新たに導入。幼児及び保護者の精神発達面・メンタル面での相談に対応できるようにした。 ・実施回数　30回　来所者数　1,598人 （心理相談員による相談件数（再掲）　28人） また、地域の公民館等からの依頼により、出前相談を実施した。 ・開催延回数　6回　参加者　131組	1,445	1,177	A	定例開催されている乳幼児相談については、今後も引続き実施。従事者の研修等により、資質の向上を図っていく。依頼による健康相談の実施については、依頼団体の固定化がみられているので、事業の周知を図り、また従事者のマンパワー確保に努めていく。	1,245	健康づくり支援課
5	母乳育児相談	継続	210	210	210	200	19年度をもって終了 （E評価理由：他の事業での対応、地域機関との連携を図り対応するため）	―	―	E	終了 産婦・新生児訪問指導、4か月児健診時に、助産師等が母乳に関する相談に対応する。また川越地区助産師会等から地域の母乳育児相談を実施している機関の情報を収集し、必要な方に提供していく。	―	健康づくり支援課
6	電話による健康相談	拡充	504	504	651	651	子どもと母の健康に関する専用ダイヤル「もしもし健康相談」の実施の他、不妊・更年期等の女性相談に助産師等が対応した。 ・もしもし健康相談　1,042件 ・女性相談　54件 ・その他の電話相談　5,600件	672	322	A	今後も引続き継続。もしもし健康相談・女性相談について、事業の周知・利用者の増加を図っていく。	672	健康づくり支援課
7	2歳児親子歯科健診	継続	1,601	1,507	1,530	1,490	2歳～2歳6か月児とその保護者を対象に、歯科健診・指導を実施。 ・実施回数　12回 ・受診児数　355人　受診保護者数　280人	1,530	1,492	A	栄養・歯科の両面から生活習慣に関する意識付けをし、更に口腔衛生への意識を高める。今後は対象者への周知を図り、受診者を増やしていく。	1,567	健康づくり支援課

8	フッ化物塗布・洗口事業	継続	0	0	3,138	3,138	歯ッピーフェスティバル、健康まつりの際に、フッ化物塗布・洗口事業を実施した。 ・フッ化物塗布　720人（3歳～12歳） ・フッ化物洗口　550人（小学生以上　一部その保護者等成人含む） また市内公立保育園の4～5歳児クラスを対象にフッ化物洗口事業を実施（全園）。また、事業評価等として、カリオスタット検査を行なった。	3,138	3,138	A	フッ化物塗布・洗口事業を通し、むし歯予防の意識を高める。	3,138	健康づくり支援課
9	予防接種の接種率向上	拡充	0	0	0	0	広報・ホームページによる情報提供、健康づくりスケジュールの全戸配布等による予防接種の接種勧奨のほか、法改正に伴う予防接種の接種対象者・接種時期等の変更内容を対象となる児の保護者に周知を徹底させるため、個別通知による接種勧奨を行った。	1,575	1,575	A	これまでの勧奨方法を継続するとともに、各種イベントや母子保健関連事業で啓発チラシを配布するなど、更なる接種勧奨を図っていく。	1,132	健康づくり支援課
10	保健推進員による妊婦訪問	拡充	991	911	940	940	19年度をもって終了 （E評価理由：平成19年度に訪問についてのアンケートを実施し、訪問してもらうならば専門職が良いという妊婦の要望が確認でき、その結果を受けて妊婦訪問を終了とした。）	－	―	E	終了 妊婦については、早期の妊娠届出、適切な妊婦健康診査の受診を呼びかけ、また市で実施している妊婦向けの教室の他、妊娠中から参加できるサロン・サークル等の情報提供を行っていく。また、地域医療機関等関係機関と連携を図り、支援が必要な妊婦については電話相談、訪問、面接等で保健師・栄養士等が対応していく。	―	健康づくり支援課
11	新生児、産婦訪問指導	拡充	4,833	4,681	4,689	3,729	出生連絡票・電話等により希望があった概ね2か月までの産婦・新生児に対して、助産師、保健師による訪問を実施。 ・産婦訪問指導　　1，058件 ・新生児訪問指導　1，071件	5,056	4,433	A	事業の周知、担当する助産師・保健師の確保に努め、訪問実績を上げることが出来た。今年度は訪問希望を提出する出生連絡票の料金受取人払いを実施し、また、担当者に対する研修の実施等、事業の更なる充実を図る。	5,380	健康づくり支援課
12	乳幼児訪問指導	拡充	0	0	95	95	訪問による指導が必要な母子に対し、保健師等による訪問指導の実施。 ・妊産婦　198件　　乳幼児　286件 　その他（保護者等）　147件	87	58	A	対象者が抱える問題点がより複雑化・深刻化しており、担当する保健師等の資質向上、人材確保が必要である。今後、人材の確保に努め、また研修会の参加、講師を招いた事例検討会の実施等、従事者の資質向上を図る。	153	健康づくり支援課
13	不妊に対する支援	継続	8,480	8,466	20,569	20,569	特定不妊治療費の助成（平成19年度より助成期間を2年から5年に拡大） ・交付件数　212件 不妊専門相談センターでの専門相談 ・相談件数　19件	21,145	21,145	A	特定不妊治療費の助成については、国の実施要綱に合わせ、助成金額を拡充する。不妊専門相談センターについては、事業の周知・利用者の増加を更に図っていく。	20,176	健康づくり支援課
14	妊婦健康診査	継続	47,917	46,127	47,830	46,797	平成20年度より、一般健康診査公費負担回数を2回から5回に拡充し、新たな検査項 ・妊婦一般健康診査（1回目）　2,888件 （2回目）　2,696件 （3回目）　2,702件 （4回目）　2,514件 （5回目）　2,507件 ・HBs抗原検査　2,887件 ・HCＶ抗体検査　2,762件 ・HIV抗体検査　2,850件 ・超音波検査　536件 ・子宮頸がん検査　2,448件	117,832	116,417	A	国の通達により、平成21年度より妊婦一般健康査の公費負担回数を、昨年度の5回から14回へ拡大した。また、里帰り出産等で委託医療機関で健診が受けられず、公費負担の対象とならない場合に対応するため、新たに助成制度を実施する。 今後は更に膨大となった事務に対応するとともに、県や近隣自治体との情報交換を密にし、発生するトラブルに速やかに対応する。また制度の周知を図っていく。	207,256	健康づくり支援課

15	母親学級・両親学級	拡充	469	450	556	556	妊婦とその夫を対象に、育児・栄養・歯科についての正しい知識の普及、妊娠中の不安の解消及び父親の育児参加の支援を目的に、プレ・パパママスクールを開催した。マタニティスクールは平成19年度をもって終了。 ・プレ・パパママスクール 実施回数　10回　参加人数　288人（夫（再掲）　116人）	377	183	A	地域の医療機関等で妊娠・出産についての知識普及・出産に向けての不安の解消等について同様の事業を実施している現状を踏まえ、産後の育児・父親の役割、栄養・歯科保健等、地域保健機関が実施する内容としての特色をもたせていく。また、夫婦揃って参加しやすいよう、日時についても配慮していく。	310	健康づくり支援課
16	マタニティ体操	継続	171	131	166	122	19年度をもって終了 （E評価理由：地域の医療機関で同様の事業を実施しており、受講者も重なっている現状を受けて終了とした。）	―	―	E	終了	―	健康づくり支援課
17	マタニティクッキング	継続	159	114	120	102	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、妊娠期及びその後の食生活をよりよくすることを目的	161	91	A	調理実習を通して、妊娠中とその後の食生活を習得してもらう。また、栄養・歯科の両面から、講話を行なうことで、内容の充実を図る。	161	健康づくり支援課
18	妊婦歯科健診	継続	613	613	616	616	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、歯科健診と歯みがき指導を実施。	662	662	A	妊娠中に起きやすい歯科疾患の予防、歯科保健に対する意識の高揚を図る。今後は、対象者への周知を図り、受診者を増やしていく。	608	健康づくり支援課
19	母子栄養食品の支給	継続	232	120	245	195	低所得世帯の妊産婦及び乳児に対して粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況	235	204	A	昨年度に引続き、低所得世帯の妊産婦及び乳児に対して粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況の把握、指導を行う。	235	健康づくり支援課
20	のびのび子育て広場	継続	―	―	―	―	17年度をもって終了 （E評価理由：公民館等地域の身近な施設で同様の事業を実施している現状を受けて終了とした。）	―	―	E	終了	―	健康づくり支援課
21	離乳食教室	継続	241	159	195	154	月齢に応じた離乳食の進め方について教室を開催し、離乳食の講話・試食を行った。 ・はじめまして離乳食教室（概ね4～6か月児とその保護者） 実施回数　12回　参加人数　288組 ・もぐもぐ離乳食教室（概ね6～8か月児とその保護者） 実施回数　12回　参加人数　253組	203	154	A	今後も引続き開催し、離乳食について、知識の普及啓発を行い、不安の解消を図っていく。	203	健康づくり支援課
22	おやつと歯みがき教室	継続	157	127	152	101	2歳6か月～4歳未満児とその保護者を対象に、おやつ作りの実習や講話を行い、お	141	96	A	公民館での実施や、異なる年齢を対象とする教室の機会を設ける等、内容の充実を図	141	健康づくり支援課
23	育児関連講座等への協力	拡充	78	42	50	50	公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数　24回　　参加延人数　835人	63	56	A	今後も継続して実施。依頼団体の固定化がみられているので、事業の周知を図り、また従事者のマンパワー確保に努めていく。	63	健康づくり支援課

24	未熟児・長期療養児訪問指導	拡充	201	52	183	9	訪問による指導が必要な未熟児・長期療養児世帯に対し、保健師等による訪問指導の実施。 ・延人数　102人	105	31	A	対象者が抱える問題点がより複雑化・深刻化しており、担当する保健師等の資質向上、人材確保が必要である。今後、人材の確保に努め、また研修会の参加、講師を招いた事例検討会の実施等、従事者の資質向上を図る。	59	健康づくり支援課
25	ひよこ教室・ひよこサロン	継続	138	83	108	107	ひよこ教室（未熟児及びその保護者を対象とした教室） ・実施回数　2回　参加延人数33組（69人） ひよこサロン（小さく生まれた子どもを持つ親の会）	141	135	A	ひよこサロンの延参加人数は、保育士をスタッフに入れたこともあり、年々増えてきている。今後も継続して実施し、サロンの内容については参加者の意見を取り入れる等、充実を図り、教室については内容の見直しを	141	健康づくり支援課
26	ダウン症児を持つ親の会	継続	83	10	128	0	いもっこの会の開催 ・実施回数　11回 ・参加延人数　58組（延93人）	43	0	A	今後も継続して実施し、内容について参加者の意見を取り入れる等、充実を図る。	43	健康づくり支援課
27	食物アレルギーの子どもをもつ親の会	継続	69	33	108	0	ポッポサークルの開催 ・実施回数　13回 ・参加延人数　87組（延177人）	33	0	A	今後も継続して実施し、内容について参加者の意見を取り入れる等、充実を図る。	33	健康づくり支援課
28	すくすくクリニック	継続	493	465	487	470	未熟児及び主に4か月児健診等で発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子どもを対象に、診察・相談を実施。 ・実施回数　12回　受診者数　58人	485	396	A	今後も継続して実施し、内容について充実を図る。	485	健康づくり支援課
29	発育・発達クリニック	拡充	973	957	1,135	1,060	乳幼児健診・相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児等を対象に、診察・発達テスト・相談を実施。 ・実施回数　12回　　受診者数　84人	1,070	1,061	A	今後も継続して実施し、内容について充実を図る。	1,070	健康づくり支援課
30	こどものこころの健康相談	拡充	973	963	1,135	1,051	乳幼児健診・相談等で心の健康に心配がある乳幼児等を対象に、診察・発達テスト・相談を実施。 ・実施回数　12回　　受診者数　62人	1,065	1,061	A	今後も継続して実施し、内容について充実を図る。	1,065	健康づくり支援課
31	多胎児をもつ親の会	継続	63	0	75	0	ハッピーエンジェルの開催 ・実施回数　24回 ・参加延人数　345組（延811人）	0	0	A	役員のなり手が出ず、参加者主体のサークルとしての継続実施が困難となり、今年度より月1回のサロンとして実施。事業周知・内容の充実を図っていく。	0	健康づくり支援課
32	こども医療費の助成 （平成17年度は乳幼児医療費の助成）	拡充	651,883	606,668	621,703	593,117	こどもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給した。 支給件数　　301,391件 支給額　　502，687千円	549,417	538,067	A	こどもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給する。 支給予定件数　　319,657件 支給予定額　　520,000千円	552,990	医療助成課

〔網 掛 け〕 重点施策

1－（2）「食育」の推進

〔進捗状況〕 A：順調　B：やや遅れている　C：遅れている　D：当該年度予定なし　E：終了

（単位：千円）

No.	事　業　名	目標	平成18年度 予算額	平成18年度 決算額	平成19年度 予算額	平成19年度 決算額	平成20年度の事業実績【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成20年度末の進捗状況	平成21年度の取組・課題等【平成21年度目標事業量】	予算額	所　管　課
1	幼稚園・保育所等における指導	拡充	0	0	0	0	市立保育園において、健全な成長発達を目指し、食事の楽しさや大切さについて栄養教育を行った。 公立保育園20園　各6回	0	0	A	市立保育園において、健全な成長発達を目指し、食事の楽しさや大切さについて栄養教育を行う。 公立保育園20園　各6回	0	保育課
2	小・中学校への指導	継続	0	0	0	0	小学校2年生に対する食に関する指導 199回　2，819人 小・中・特別支援学校への食に関する指導 110回 各種広報誌の発行　6回	0	0	A	小学校2年生に対する食に関する指導 198回　2，852人 小・中学校への食に関する指導 各種広報誌の発行　6回	0	給食センター
			0	0	0	0	学校給食の時間をはじめとする特別活動、各教科、道徳、総合的な学習の時間といった学校教育活動全体で、食に関する指導を実施した。	0	0	A	○学校教育全体をとおした体系的、継続的な食に関する指導の実践。	0	教育指導課
			0	0	0	0	学校栄養職員の研修会を実施した。 1回　15名	0	0	A	学校栄養職員の研修会を実施する。 1回　予定人数14名 平成21年度より教育研究所が担当	0	学校管理課 教育研究所
3	地域の特色を活かした「食育」の実践活動	継続	0	0	0	0	地場農産物の学校給食への利用 地場農産物を利用した料理教室開催 地場農産物に関する食育資料提供 地場産業の見学	0	0	A	地場農産物の学校給食への利用 地場農産物を利用した料理教室開催 地場農産物に関する食育資料提供	0	給食センター
4	情報発信活動	拡充	0	0	0	0	食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士の会等がイベント開催時に食生活改善の掲示物を作成し、展示したり、試食やエプロンシアター等を実施し情報を発信した。 また、食育やむし歯予防をはじめ幼児の正しい生活習慣を身につけるための絵本を作成するための打ち合わせを、歯科医師会、地域活動栄養士の会、歯科衛生士会等と共同で実施した。	0	0	A	食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士の会等がイベント開催時に食生活改善の掲示物を作成し、展示したり、試食やエプロンシアター等を実施し情報を発信する。 また、食育やむし歯予防をはじめ幼児の正しい生活習慣を身につけるための絵本を歯科医師会、地域活動栄養士の会、歯科衛生士会等と共同作成する。	300	健康づくり支援課
5	乳幼児健診・相談時の栄養相談	拡充	—	—	–	–	1歳6か月児健診や乳幼児相談の際に、栄養士による個別相談を実施した。 ・1歳6か月児健診栄養相談　195人 ・乳幼児相談栄養相談　257人 ※4か月児健診時の個別栄養相談（離乳食教室終了後等に実施）　117人	–	–	A	今後も乳幼児健診・相談時において、栄養士による個別的な栄養相談を実施。4か月児健診は集団指導（離乳食教室）だが、昨年度の個別相談の実績を受け、今年度より対象児が多いときに栄養師を2名配置し、個別の相談へも対応する。	–	健康づくり支援課
6	食生活改善推進員協議会の活動支援	拡充	50	50	50	50	親子料理教室などをはじめとする調理実習等の事業を実施。健康まつり、歯ッピーフェスティバルなどのイベントにて食育を啓発した。また、会員は、食育等研修を受講し資質の向上に努めた。	50	50	A	親子料理教室などをはじめとする調理実習等の事業を実施予定。健康まつり、歯ッピーフェスティバルなどのイベントにて食育をはじめとする食生活に関わる啓発を予定。また、会員は、食育等研修を受講し資質の向上を図る。	50	健康づくり支援課
7	地域活動栄養士会との協働	拡充	45	14	45	0	地域活動栄養士の会と共催事業を実施し、食育の推進を図った。 ・実施回数　2回　参加者　20組	23	23	A	共催事業の実施回数を増やし、地域活動栄養士の会活動を支援するとともに、食育の推進を図っていく。	31	健康づくり支援課
8	マタニティクッキング・離乳食教室・おやつと歯みがき教室・2歳児親子歯科健診での展開	拡充	—	—	–	–	妊娠期から幼児期まで、各ライフステージにおいて必要な知識の普及啓発を図り、食を通した健康づくりの支援を行った。	–	–	A	今後も、引き続き各事業において、望ましい食生活のあり方等、普及啓発を行っていく。	—	健康づくり支援課

〔網 掛 け〕 重点施策

1－(3) 思春期保健対策の充実

〔進捗状況〕 A:順調　B:やや遅れている　C:遅れている　D:当該年度予定なし　E:終了

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成18年度 予算額	平成18年度 決算額	平成19年度 予算額	平成19年度 決算額	平成20年度の事業実績【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成20年度末の進捗状況	平成21年度の取組・課題等【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1	薬物乱用防止啓発	継続	126	95	71	104	・保健所窓口や健康まつりにおいて、各種のリーフレット等を配布し啓発を行った。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6．26ヤング街頭キャンペーン(本川越駅周辺)を行った。 ・小中学校等の開催する薬物乱用防止講演会のための講師を派遣した。派遣回数2回 受講者数178人	64	29	A	・保健所窓口や健康まつりにおいて、各種のリーフレット等を配布し啓発を行う予定。 ・健康まつりにキャラバンカーの招致を行う予定。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6．26ヤング街頭キャンペーン(朝霞台駅及び北朝霞駅周辺)に参画する予定。 ・小中学校等の開催する薬物乱用防止講演会のための講師を派遣する予定。	38	保健総務課
			0	0	0	0	○全市立学校で薬物乱用防止教室を開催 児童生徒へ啓発を図った。 小学校33校、中学校22校、 養護学校1校、高等学校1校　計57校	0	0	A	○全市立学校における薬物乱用防止教室開催 ○薬物乱用防止教育の指導の工夫	0	教育指導課
2	思春期保健相談	新規	561	487	396	264	・随時、電話等で思春期相談に対応。	0	0	A	・電話等による思春期相談に随時対応していく。	0	保健予防課
					0	33	・中学、高校、大学への出前講座 (4回／年実施　参加者364名)	330	132		・中学、高校、大学への出前講座 (10回／年実施予定)	330	
					165	99	・思春期保健講座 (4回／年実施　参加者128名)	165	83		・思春期保健講座 (4クール／年開催予定)	165	
			0	0	0	0	随時、電話等で思春期の保健相談に対応。 ・相談数　0人 (C評価理由:実績がなかったため。)	0	0	C	学校保健分野の関係機関との連携は図られていない状況であり、事業の実施、内容等について今後検討していく。	0	健康づくり支援課
3	子育て体験学習	新規	0	0	0	0	未実施 (D評価理由:関係機関との連携が図られていないため。)	0	0	D	関係機関との連携は図られていない状況であり、事業の実施、内容等について今後検討していく。	0	健康づくり支援課
4	中学生の健康教育	継続	0	0	0	0	学校からの依頼により、それぞれのテーマに沿った内容の講義、実習を実施する。 ・実施回数　0回 (C評価理由:依頼を受けての実施としているが、実績がなかったため。)	0	0	C	関係機関との連携は図られていない状況であり、事業の実施、内容等について今後検討していく。	0	健康づくり支援課
5	飲酒・喫煙防止対策	拡充	0	0	25	24	飲酒・喫煙防止についてチラシを作成、保健推進員協議会等団体の協力によりラジオ体操や夏祭りなどイベントにて啓発活動を実施。 「健康スケジュール」「広報川越」に未成年	19	19	A	飲酒・喫煙防止についてチラシを作成し、啓発予定。 「健康スケジュール」に未成年の喫煙防止の記事を掲載。	19	健康づくり支援課
6	性感染症対策	継続	33,000	33,000	0	0	・性感染症検査、相談及び即日検査 (月3回実施　受検者580名)	0	0	A	・性感染症検査、相談及び即日検査 (月3回実施予定)	0	保健予防課
							・エイズを含む性感染症予防啓発事業 (エイズ検査普及週間や世界エイズデーに市内大学等や成人式で、ポケットティッシュやパンフレット、リーフレットの配布)	10	10		・エイズを含む性感染症予防啓発事業 (世界エイズデー　パネル展示)	0	

〔網 掛 け〕 重点施策

1－(4) 小児医療の充実

〔進捗状況〕 A:順調　B:やや遅れている　C:遅れている　D:当該年度予定なし　E:終了

(単位:千円)

No.	事業名	目標	平成18年度 予算額	平成18年度 決算額	平成19年度 予算額	平成19年度 決算額	平成20年度の事業実績【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成20年度末の進捗状況	平成21年度の取組・課題等【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
1	小児救急医療対策事業	継続	0	0	0	0	小児二次救急事業については埼玉県で実施。 市は、小児救急医療対策の課題等について調査・研究を適宜実施。 (D評価理由:特定の事業(小児二次救急事業)については、埼玉県が実施しており、市としては、課所管分野の通常業務に関する一般的な調査・研究のみを実施しているため。)	0	0	D	小児二次救急医療事業については引き続き、埼玉県で実施。 市は、小児救急医療対策の課題等について、適宜調査・研究を実施していく。 当面の課題:埼玉県の小児救急医療拠点病院運営事業解除後の市の対応について。	0	保健医療推進課
2	休日急患・小児夜間診療事業	継続	45,755	44,794	45,889	44,542	診療日数315日 患者数5，386人	45,698	44,750	A	小児の初期救急医療を確保するため、本年度も休日及び夜間に小児科の診療を行う。	46,338	診療所
3	未熟児養育医療給付	継続	21,778	21,499	75,454 4～6含む	16,596	養育のため、指定養育医療機関に入院した未熟児に対し、その養育に必要な医療給付を行った。 ・受給者数　74人	20,818	19,906	A	未熟児に対して、養育のため指定養育医療機関に入院入院が必要な場合、その養育に必要な医療給付を行う。	20,610	健康づくり支援課
4	身体障害児育成医療給付等 ※自立支援医療(育成医療)に名称変更	継続	8,876	5,617	－	5,883	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療の給付を行った。 ・受給者数　115人	5,851	5,851	A	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療の給付を行う。	5,960	健康づくり支援課
5	結核児童療育医療給付 ※結核児童療育給付に名称変更	継続	483	143	－	1,406	結核児童に対して、その児童の心身両面にわたる健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療等の給付を行った。 ・受給者数　0人	129	0	A	結核児童に対して、その児童の心身両面にわたる健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療等の給付を行う。	129	健康づくり支援課
6	小児慢性特定疾患医療給付	継続	49,548	37,769	－	41,485	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について必要な医療の給付を行った。 ・受給者数　231人	45,583	45,583	A	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行う。	41,041	健康づくり支援課

（2）基本目標2　心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進

〔網 掛 け〕　重点施策

2－（1）　次代の親の育成

〔進捗状況〕A:順調　B:やや遅れている　C:遅れている　D:当該年度予定なし　E:終了

（単位:千円）

No.	事　業　名	目標	平成18年度 予算額	平成18年度 決算額	平成19年度 予算額	平成19年度 決算額	平成20年度の事業実績【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成20年度末の進捗状況	平成21年度の取組・課題等【平成21年度目標事業量】	予算額	所　管　課
1	男女平等教育研修会	継続	170	71	103	103	教職員を対象に、男女共同参画社会の実現についての講演会を1回実施。男女平等教育推進委員会を3回実施し、リーフレット1600部を作成し、各学校に配布した。	80	83	A	男女平等教育を多角的に推進するため、リーフレットの内容を検討し、校内での指導に生かすようにする。	85	教育指導課 教育研究所
2	中学生社会体験事業	継続	1,320	1,320	1,320	1,320	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。 ・参加生徒数　2，941人 ・協力事業所　　530社	1,558	1,492	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。	1,508	教育指導課
3	子育て体験学習 （1－（3）－3の再掲）	新規	－	－	－	－	未実施 （D評価理由:関係機関との連携が図れていないため。）	－	－	D	関係機関との連携は図られていない状況であり、事業の実施、内容等について今後検討していく。	－	健康づくり支援課

〔網 掛 け〕　重点施策

2－（2）　子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

〔進捗状況〕A:順調　B:やや遅れている　C:遅れている　D:当該年度予定なし　E:終了

（単位:千円）

No.	事　業　名	目標	平成18年度 予算額	平成18年度 決算額	平成19年度 予算額	平成19年度 決算額	平成20年度の事業実績【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成20年度末の進捗状況	平成21年度の取組・課題等【平成21年度目標事業量】	予算額	所　管　課
1	小・中学校への指導 （1－（2）－2の再掲）	継続	－	－	－	－	学校栄養職員の研修会を実施した。 1回　15名	－	－	A	学校栄養職員の研修会を実施する。 1回　予定人数14名 平成21年度より教育研究所が担当	－	学校管理課 教育研究所
			－	－	－	－	学校給食の時間をはじめとする特別活動、各教科、道徳、総合的な学習の時間といった学校教育活動全体で、食に関する指導を実施した。	－	－	A	学校教育活動全体をとおした体系的、継続的な食に関する指導の実践	－	教育指導課
			－	－	－	－	小学校2年生に対する食に関する指導 199回　2，819人 小・中・特別支援学校への食に関する指導 110回 各種広報誌の発行　6回	－	－	A	小学校2年生に対する食に関する指導 198回　2，852人 小・中学校への食に関する指導 各種広報誌の発行　6回	－	給食センター
2	子ども情報提供事業	継続	1,080	756	907	711	かわごえし子ども情報誌「小江戸探検隊」を年4回発行。市立小中学校の児童生徒に学校を通じて家庭に配布	907	761	A	かわごえし子ども情報誌「小江戸探検隊」を年4回発行。市立小中学校の児童生徒に学校を通じて家庭に配布	907	生涯学習課
3	臨床心理士配置事業	新規	1,395	1,395	1,373	1,373	教育総合相談センター（リベーラ）に1人配置し、学校やリベーラにおける相談活動の指導、助言を行った。 ・相談件数　220件　・教職員研修講師1回	1,373	1,373	A	教育総合相談センター（リベーラ）に1人配置し、学校やリベーラにおける相談活動の指導、助言を行う。	1,373	教育研究所
4	川越市さわやか相談員配置事業 （平成19年度から名称変更）	継続	9,911	9,805	25,186	25,096	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施した。 ・中学校22校に22人配置 ・相談者延べ人数　18831人	28,383	24,913	A	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施する。 ・中学校22校に22人配置	1,373	教育研究所

5	学校カウンセリング研修事業	継続	175	151	175	161	教職員や川越市さわやか相談員への研修を実施した。 ・学校教育相談コンサルテーション研修会…2回 ・学校カウンセリング初級研修会…3回　同中級…9回 ・特色あるさわやか相談室づくり研修会…3回	252	169	A	教職員や川越市さわやか相談員への研修を実施する。 ・学校教育相談コンサルテーション研修会…2回 ・学校カウンセリング初級研修会…3回　同中級…9回 ・特色あるさわやか相談室づくり研修会…3回	233	教育研究所
6	適応指導教室	継続	40	40	30	30	総合教育相談センターにおいて、不登校児童生徒への、学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。 ・通室　中学生8人	25	25	A	総合教育相談センターにおいて、不登校児童生徒への、学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施する。 ・通室　中学生4人	25	教育研究所
7	総合的な学習の時間の支援	継続	0	0	0	0	学校への訪問指導	0	0	A	学校への訪問指導	0	教育指導課
			10	5	20	18	2回実施　延べ97名参加　1回目は小中連携を図るため、中学校区の中学校と小学校で、自校の内容について話し合いを行い、内容の系統性や重複が明らかになった。2回目は、移行期に向けた総合的な学習の時間についての講演をした。	20	20	A	今年度より、新学習指導要領の先行実施となった。そこで、「総合的な学習の実践と課題」の講演を計画した。2回目の研修会では、全体計画と年間指導計画の見直しを行う予定である。	20	教育研究所
8	川越市教職員研修事業	拡充	5,696	4,755	6,388	4,433	川越市立学校（小・中・高・特別支援）の教職員を対象とした研修会を実施した。研修内容の工夫改善を図り、コースによる選択制を拡大した。 研修講座数　82 研修日数　255日 参加者数2807人　のべ参加者数6038人 主な内容は経験者研修（年次研修）・職能別研修・重点研修・奨励研修など	6,652	4,460	A	川越市立学校（小・中・高・特別支援）の教職員を対象とした研修会を実施する。新学習指導要領に即した研修内容とし、最新の情報得られるよう外部指導者を積極的に招聘する。 研修講座数　83 研修日数　258日 参加予定者数2659人　のべ参加予定者数5951人 主な内容は経験者研修（年次研修）・職能別研修・重点研修・奨励研修など	5,765	教育研究所
9	指導方法の工夫改善、少人数学級	拡充	0	0	0	0	全市立小・中学校に、県費による指導方法工夫改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導やティーム・ティーチングによる、個に応じたよりきめ細かな指導を行った。	0	0	A	全市立小・中学校に、県費による指導方法工夫改善に伴う加配教員の配置により、少人数指導やティーム・ティーチングによる、個に応じたよりきめ細かな指導をとおして基礎学力の定着を図る。	0	教育指導課
			29,098	27,645	31,135	28,375	対象学年における1学級あたりの人数が多い学級において、市独自の少人数学級編制を行い、1学級増になった学級に、市費採用の臨時講師を配置した。 少人数学級のための臨時講師　10校、10名	38,478	34,288	A	対象学年における1学級あたりの人数が多い学級において、市独自の少人数学級編制を行い、1学級増になった学級に、市費採用の臨時講師を配置する。 少人数学級のための臨時講師　5校、5名	38,973	学校管理課
10	教育副読本の整備	継続	4,898	4,048	4,696	4,048	小学校3・4年生の社会科の副読本を整備。	4,694	3,921	A	小学校3・4年生の社会科の副読本を整備する。	4,526	教育指導課

11	中学校社会体験事業 （2－（1）－2の再掲）	継続	－	－	－	－	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。 ・参加生徒数　2，941人 ・協力事業所　　530社	－	－	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。	－	教育指導課
12	国際理解教育	継続	30	30	20	20	小学校における総合的な学習の時間の国際理解教育と、英語活動の推進のための研修会を行った。 ・国際理解教育研修会3回　215名参加	20	25	A	小学校における英語活動の推進のための研修会を充実し、中学校の英語教育への円滑な接続を図るための研修を行う。 ・国際理解教育研修会3回	25	教育研究所
13	情報教育	継続	115,482	84,754	136,152	125,309	児童生徒の情報活用の力を育成するため、教職員への研修の実施、情報機器の整備を行った。 小学校33校　811台、中学校946台 ・やさしいパソコン操作研修会他4研修会8回 ・情報教育推進委員会による授業研究会 (B評価理由：情報機器の整備が十分でないため。特に、教育用PCの数や校内LANの整備について、国の基準をみたしていない。)	140,372	139,427	B	情報機器のより効果的な活用についての研修、児童生徒の情報モラルについての指導法についての研修を行う。 小学校33校　811台　中学校22校　946台 ・霞ヶ関北小学校校内LAN用パソコンの更新 ・やさしいパソコン操作研修会他4研修会8回 ・情報教育推進委員会による授業研究会	122,177	教育研究所
14	土曜体験教室 (21年度から土曜子ども体験に名称変更)	継続	60	36	60	54	学校週5日制対応事業として、子どもに豊かな体験の場を提供するため、藍染めや鎧の着装、お正月飾りの作製等の体験を行った。 22回　延べ1554人	50	48	A	毎月2回（8月を除く）実施しており、プログラムも毎年数種類更新している。短時間でできる魅力ある内容を考えて実施する。 今年度から講座名は土曜子ども体験に変更。	60	博物館
15	子ども博物館教室	継続	54	30	18	18	子どもに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めるための学習、はにわ作りなどの体験を行った。 3回　延べ59人	18	12	A	1日かけてじっくり取り組めるプログラムを実施していく。川越の歴史、民俗、文化財等にかかわる内容を踏まえ、毎年数種類更新している。	18	博物館
16	夏休み子ども体験	継続	12	12	12	6	学校との連携を図り、夏季休業日を活用して学校教育との連動した学習の場として、ミニ縄文土器やまが玉作りの体験を行った。 3回　延べ186人	12	0	A	普段はなかなか博物館にくることができない児童・生徒が、夏季休業日を利用して来館し興味を持って取り組める内容のプログラムを実施する。	12	博物館
17	昔の遊び	継続	0	0	0	0	昔のいろいろな遊びを体験することを通して当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にベーゴマ回しや割り箸鉄砲作りの体験を行った。 2回　延べ155人	0	0	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にプログラムを組み、指導者として市民ボランティアの協力を得て実施する。	0	博物館
18	ミュージアムシアター	継続	0	0	0	0	未実施 (D評価理由：上映作品の選定が困難なため。)	0	0	D	予定なし	0	博物館
19	人権教育	継続	675	369	521 179	266 123	人権作文集「あけぼの」を3，150部発行。 「いのち・こころを大切にする絵画展」を3日間開催。	520 178	265 114	A	人権作文集「あけぼの」を3，150部発行予定。「いのち・こころを大切にする絵画展」を3日間開催予定。	297 169	生涯学習課
20	人権啓発事業	継続	1,740	1,289	1,841	1,195	人権意識の高揚と差別意識や偏見の解消に向けた啓発をさまざまな機会を利用して行った。	1,794	1,385	A	人権意識の高揚と差別意識や偏見の解消に向けた啓発をさまざまな機会を利用して行う。	1,801	人権推進課

21	学校部活動補助事業	継続	3,200	3,186	3,200	3,182	学年・学級の枠を越えた自主的な活動をとおして仲間とのふれあいを深め、協調性や責任感等を培い、豊かな人間性の育成等、教育的価値が大きい。	2,560	256	A	学年・学級の枠を越えた自主的な活動をとおして仲間とのふれあいを深め、協調性や責任感等を培い、豊かな人間性の育成等に務める	2,560	教育指導課
22	公立学校施設の整備	継続	630,680	163,404	782,442	344,834	学校施設の耐震性能の向上を図るとともに、施設設備の改善改修を実施した。	1,455,323	337,484	A	学校施設の耐震性能の向上を図るとともに施設設備の改善改修を実施する。	3,245	教育財務課
23	幼児教育振興プログラムの策定	新規	0	0	0	0	平成19年度に策定完了 （E評価理由：上記のとおり）	－	－	E	平成19年度に策定完了	－	教育指導課
24	育児関連講座	継続	2,858	2,649	2,907	2,987	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供した。 32講座　333回 参加者延べ　13，080人	2,714	2,923	A	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供する。 30講座（予定）	2,786	中央公民館
25	幼保小連絡懇談会の実施	継続	30	25	30	25	第32回幼保小連絡懇談会を6会場で実施した。「様々な遊びや活動を通して、どのように子どもの人間関係をつくっていくか」の共通テーマのもとに「子どもの人間関係づくり実践事例集を作成し、研究協議会を開催した。幼保小の連携に役立つ活動ができた。	30	30	A	第33回幼保小連絡懇談会を6会場で実施し、「様々な遊びや活動を通して、どのように子どもの人間関係をつくっていくか」の中で特あいさつや早寝早起き朝ご飯等基本的な生活習慣についての共通テーマのもとに「子どもの人間関係づくり実践事例集を作成し、研究協議会を開催する予定である。	30	教育指導課
26	川越市子ども読書活動推進計画の策定・推進	新規	0	0	0	0	計画に基づき、各施策を実施した。	0	0	A	関係諸機関及び関係者が協力して読書活動を推進する体制を整備する。	0	教育指導課
27	学校図書館図書の整備	拡充	29,857	29,788	30,737	30,082	「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努めた。 ・達成率　小学校65.8%　中学校75.6% （C評価理由：国が示す学校図書標準には達していないため。）	30,380	30,424	C	引き続き「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努める。	30240	教育指導課
28	小江戸読書マラソン事業	継続	440	139	440	139	小学校全児童に対して読書マラソンカードを配布し、30冊以上読んだ児童に認定証を渡した。 ・参加児童数17935名　認定数9126名	322	148	A	小学校全児童に対して読書マラソンカードを配布し、30冊以上読んだ児童に認定証を渡す。	268	教育指導課
29	小江戸中学生読書手帳事業	継続	171	128	171	128	中学校1年生に対して、推薦図書を紹介した手帳を配布し、読書活動の啓発を実施した。 ・活用している11校 ・あまり活用していない11校	140	137	A	中学校1年生に対して、推薦図書を紹介した手帳を配布し、読書活動の啓発を実施する。活用をさらに進めるとともに、様式や実施方法について改善案を検討する。	140	教育指導課

〔網 掛 け〕　重点施策

2－（3）　家庭や地域の教育力の向上

〔進捗状況〕 A：順調　B：やや遅れている　C：遅れている　D：当該年度予定なし　E：終了

（単位：千円）

No.	事　業　名	目標	平成18年度		平成19年度		平成20年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成20年度末の進捗状況	平成21年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所　管　課
			予算額	決算額	予算額	決算額							
1	教育相談・就学相談事業	継続	2,292	2,194	2,412	1,951	子どもの教育に関すること、学校生活、発達や就学に関する相談に応じた。 ・教育総合相談ｾﾝﾀｰの相談件数　延べ3290件 ・川越市就学支援委員会（委員25名） 相談対象202名（181名に就学先判断）	2,320	1,802	A	子どもの教育に関すること、学校生活、発達や就学に関する相談に応じる。 ・川越市就学支援委員会（25名予定）	2,145	教育研究所
2	不登校児童生徒保護者セミナー	継続	0	0	0	0	不登校児童生徒の保護者を対象に、不登校理解のためのセミナーを実施し、相談に応じた。 ・3回実施 ・8名参加	0	0	A	不登校児童生徒の保護者を対象に、不登校理解のためのセミナーを実施し、相談に応じる。 ・3回実施予定	0	教育研究所

3	学習相談	継続	1,149	912	1,383	1,134	高階北学習情報館の廃止により終了。 （E評価理由：上記のとおり）	―	―	E	高階北学習情報館の廃止により終了。	―	生涯学習課
4	家庭教育学級	継続	2,160	2,160	2,160	2,160	保護者に対して家庭教育に関する学習機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託した。 54校PTA	2,160	2,160	A	保護者に対して家庭教育に関する学習機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託する。 54校PTA	2,160	生涯学習課
5	家庭教育講座	拡充	1,600	1,553	1,595	1,437	家庭教育に関する講演会や学習会を実施した。 25講座　124回 参加者延べ2，938人	1,906	1,283	A	家庭教育に関する講演会や学習会を実施する。 26講座（予定）	1,620	中央公民館
6	総合型地域スポーツクラブ	拡充	300	300	300	300	地域住民が主体的に事業を企画運営し、クラブの育成に努力した。会議打合せ等も自主的に運営した。平成20年度は、10教室を開催し、614名の参加者を得た。又、市内に新たなスポーツクラブが設立された。	300	300	A	市内に2つのスポーツクラブが設置されたので、相互交流を行い、それぞれ特性や良さを理解しあい、個々の活動の充実を図る。	300	市民スポーツ課
7	スポーツ少年団	継続	600	600	700	700	子どもたちに多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭・新春マラソン・体力テスト会を開催した。 参加者数合計3，915名	700	629	A	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催する。	730	市民スポーツ課
8	学校体育施設開放事業	継続	12,576	12,576	13,487	13,487	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小学校及び中学校の体育施設を住民に開放した。学校体育施設開放参加人数433，269名。霞ヶ関北小プール開放参加人数3，234名。学校プール開放参加人数217名。	13,925	13,925	A	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小学校及び中学校の体育施設を住民に開放する	13,803	市民スポーツ課
9	人材バンク	新規	子どもサポート推進事業予算の一部		子どもサポート推進事業予算の一部		子どもサポート推進事業の取組の一環として市内14地区ごとに人材バンクを設置する。登録した人材が幅広く活用されるようになってきたが、地区によりまだ充分でないところもある。 （B評価理由：上記のとおり）	子どもサポート推進事業予算の一部		B	登録した人材を、地区事業の中だけでなく、学校支援ボランティアとして活用していく。地区同士が互いに人材交換などもできるよう情報の交換・共有をすすめる。	子どもサポート推進事業予算の一部	生涯学習課
10	学生ボランティアの活用	新規	200	150	200	150	市内3つの大学と連携して、小中学生の活動を計画支援してもらうことができた。大学生にも数多くボランティアとして参加してもらった。また、地区サポート委員会の活動にも参加してもうらうことができた。 （B評価理由：充分に活用できた大学とそうでない大学との差が大きかったため。）	200	165	B	3大学との連携は継続し、残りの1つの大学との連携事業を実施する。より多くの大学生に事業やサポート委員会の活動に参加してもらう。	200	生涯学習課
11	出前講座	新規	0	0	0	0	PTA家庭教育学級や公民館事業において、人権教育の講座を実施する際には、生涯学習課人権教育担当の職員を講師として派遣した。 21講座	0	0	A	PTA家庭教育学級や公民館事業において、人権教育の講座を実施する際には、生涯学習課人権教育担当の職員を講師として派遣する。	0	生涯学習課
12	エコチャレンジファミリー認定事業	継続	89	85	67	0	・省エネナビコース；15件認定 ・簡易電力計コース；18件認定 ・省エネ家計簿コース；20件認定 ・省エネワークブックコース；105件認定 ・ゴールドエコチャレンジファミリー；6件認定	112	144	A	・申し込み者の安定した確保 ・参加者へのフォローアップ ・省エネナビに不具合が多く修繕が必要 ・省エネナビ本体の買替	236	環境政策課
13	市民環境調査	継続	120	71	115	14	「セミのぬけがら調査」を実施 （1回実施　参加人数23人）	145	19	A	「川越グリーンマップ改定のための調査」を実施予定	91	環境政策課

14	星空観察の集い	継続	53	33	64	64	児童センターこどもの城にて夏期と冬期に実施 参加者数 （夏期） 46人 （冬期） 45人	80	91	A	児童センターこどもの城にて夏期と冬期に実施予定	58	環境政策課
15	環境展inさんぱく	継続	0	0	95	34	786名参加 ・地球温暖化クイズ ・パソコンコーナー ・貼り絵コーナー ・エコチャレンジファミリー勧誘 ・啓発パンフレット等配布	95	37	A	・会場の変更に伴う展示内容の見直し	63	環境政策課
16	環境ふれあい教室（水生生物調査）	継続	97	81	105	86	水生生物調査見直しのため検討 （D評価理由：上記のとおり）	104	0	D	水生生物調査見直しのため検討	0	環境保全課
17	夏休み親子リサイクル体験ツアー	継続	198	56	228	62	市内の小学生の親子を対象に参加者を募集し、借り上げバスにてごみ処理施設の見学及びごみとして排出された廃材等を利用して、工作教室を行った。 参加者 8月19日 23人 8月20日 24人	228	47	A	市内の小学生の親子を対象に参加者を募集し、借り上げバスにてごみ処理施設の見学及びごみとして排出された廃材等を利用して、工作教室を行う予定である。	168	資源循環推進課
18	市民の森	継続	8,272	8,161	8,088	7,498	（1） 維持管理 清掃（月3回） 除草業務委託（年2回） 剪定、枯損木処理（随時） （2） 施設改修 第10号ほか5箇所施設修繕工事	8,082	7,116	A	（1） 維持管理 清掃（月3回） 除草業務委託（年2回） 剪定、枯損木処理（随時） （2） 施設改修 現地調査の上、実施場所を決定	8,021	環境政策課
19	こどもエコクラブ	継続	210	131	150	138	会員募集のほか、市主催のイベントを実施した。 登録数：4クラブ・67会員 研修会参加人数：12人 発表会参加人数：1クラブ・17人	175	67	A	会員募集のほか、市主催のイベントを実施予定	111	環境政策課
20	エコチャレンジスクール	継続	180	73	165	37	市内全57校がエコチャレンジスクールに認定（平成20年度38校認定：小21校・中17校。平成19年度19校認定）各学校において、環境にやさしい地道な取組をしてきた。その結果、電気や水の無駄遣いをしない児童・生徒が増え、環境を大切にしようとする意識が高まってきた。	165	33	A	市内全小・中・高・特別支援学校において、環境にやさしい取組を継続して実践する。また、さらに発展的な取組ができるよう支援する。	165	教育研究所